

参 | 加 | 無 | 料

3/23^土
13:30-15:00
@見晴亭

いまや、ブログ、SNSやnote...などなど、情報や“思い”を発信する方法はさまざまです。文章もAIによるChatGPTを利用すれば、ある意味では簡単に書けるようになりました。それでもなお、“きちんと書けるライター”の需要はあるのです。今回の講師は、神奈川県川崎市から上野原に移住して3年。ライター・編集者としての経歴30年以上、小さな出版社も経営する温野まきさんに「ライターってどんな仕事？」&「書けるようになるには？」をお聞きします。「プロであるライターは、書けること以前に正しい情報を集め、人の話をよく聴ける人であってほしい」と温野さんは言います。なぜなのでしょう？質問もどしどしお寄せください。

書
く
を

シ
ゴ
ト
に

するってどんなこと？

お申し込みはこちら



おん の
温野まきの

時雨出版代表

ライター、編集者

【講師】

ープロフィール

1962年生まれ、雑誌やMOOK制作編集プロダクション勤務後、1995年からフリーランスに。ライター及び編集者として、赤塚不二夫、いとうせいこう、坂本龍一、矢野顕子、松任谷由実、木村秋則、佐藤初女、羽生善治、岡田武史、佐治晴夫、中村哲、ダライラマ14世……等取材し、雑誌、WEB、書籍などで記事にしてきた。2011年からは自然栽培を専門にし、2014～2019年に季刊書籍『自然栽培』編集長を務める。2020～2024年『野菜だより』（ブティック社）で連載。2018年「時雨出版」を創設し、2019年『最初に読む料理本』（監修・料理／古谷暢康）出版。

MIHARASHITEI

COMMUNITY & COWORKING SPACE IN UENOHARA